

2023年9月19日

9月15日（金）、日本の先進的な政治・経済・医療システムに関する情報収集と国際交流を目的に韓国小児糖尿病者協会（注1）が岐阜大学医学部附属病院を訪問されました。

イ・ホンギョ ソウル大学医学部名誉教授/協会名誉理事長、キム・デジュン 亜城大学医学部教授/、キム・グァンフン 協会長をはじめ15名の参加者があり、秋山病院長、矢部副病院長/国際医療センター長/糖尿病代謝内科長らと意見交換を行いました。

韓国小児糖尿病者協会の皆さんは、看護師によるインスリン注射や自己血糖測定に必要な手技の説明やフットケア、管理栄養士による栄養相談を含め当院の糖尿病外来の様子を視察後、岐阜県糖尿病協会の会員のなかで医師や看護師、研究者として活躍している1型糖尿病をもつ若手のスピーチ、矢部副病院長によるわが国の糖尿病診療の現状や課題に関する講義を受けました。

韓国糖尿病者協会の皆さんからは、糖尿病をとりまく差別や偏見をなくそうとするわが国のアドボカシー活動や糖尿病医療に対する保険制度等に関する知識をもちかえり、韓国の糖尿病のある人たちの環境改善に活用したいとの意見が多くきかれました。

注1：韓国小児糖尿病者協会は、糖尿病の子供たちへの社会的共感と認識改善を促進し、子供たちが差別に直面することなく、学校や社会で成長できるようにすることを目標とした団体です。



未成年の参加者もおられるため画像を意図的にぼかしています。